

DIAMベトナム株式ファンド

<愛称：ベトナムでフォー>

追加型投信／海外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、ベトナム株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目的として、積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2019年6月4日～2020年6月1日

第5期	決算日：2020年6月1日	
第5期末 (2020年6月1日)	基準価額	9,628円
	純資産総額	6,538百万円
第5期	騰落率	△12.4%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

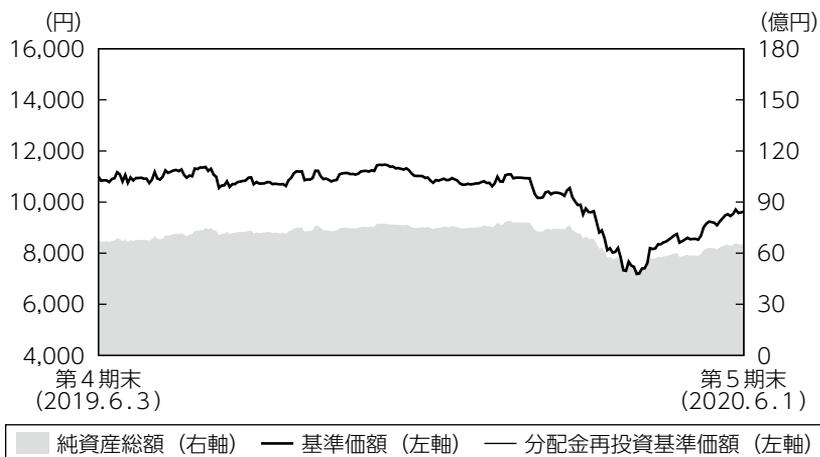
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



第5期首：10,994円
 第5期末：9,628円
 (既払分配金0円)
 騰落率：△12.4%
 (分配金再投資ベース)

- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

新型コロナウイルスの感染拡大を背景とした世界的な株式市場の大幅下落を受けベトナム株式市場も下落したこと、それに伴い当ファンドにおいて多めに保有している金融・インフラ・消費関連株式等が下落したこと等から、基準価額は下落しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第5期		項目の概要
	(2019年6月4日 ～2020年6月1日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	194円	1.881%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,323円です。
(投信会社)	(90)	(0.870)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各种書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(95)	(0.924)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(9)	(0.087)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	5	0.049	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	(5)	(0.047)	
(投資信託受益証券)	(0)	(0.002)	
(c) 有価証券取引税	1	0.006	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	(1)	(0.006)	
(d) その他費用	14	0.137	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(14)	(0.133)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	(0)	(0.001)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	214	2.073	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

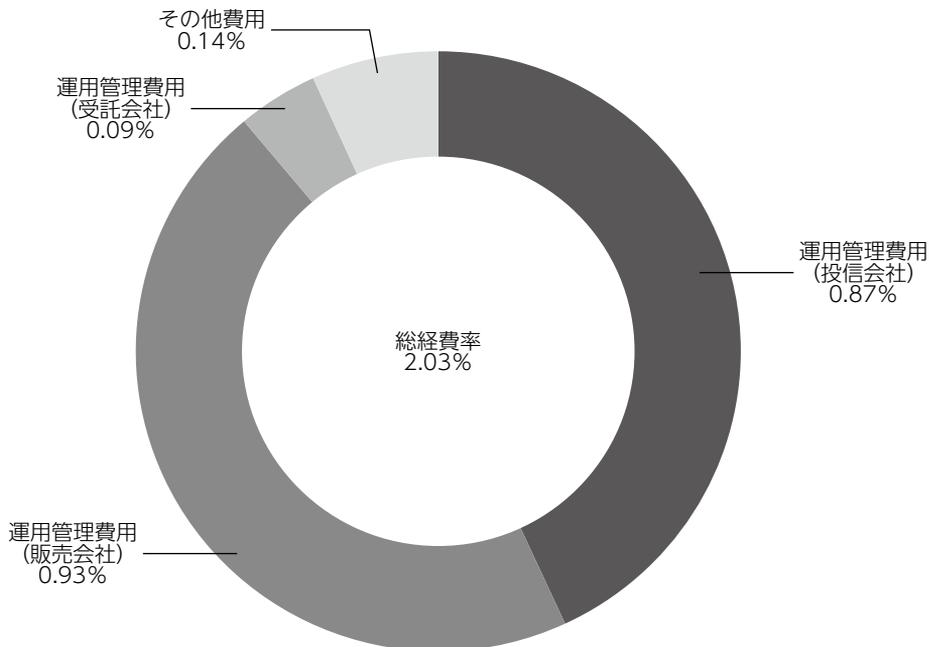
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.03%です。



(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

		2015年6月15日 設定日	2016年6月1日 決算日	2017年6月1日 決算日	2018年6月1日 決算日	2019年6月3日 決算日	2020年6月1日 決算日
基準価額 (分配落)	(円)	10,000	7,921	9,101	11,398	10,994	9,628
期間分配金合計 (税引前)	(円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率	(%)	—	△20.8	14.9	25.2	△3.5	△12.4
参考指数の騰落率	(%)	—	△8.5	19.3	29.0	△5.3	△9.9
純資産総額	(百万円)	1,751	1,628	1,730	2,835	6,737	6,538

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。参考指数はベトナム VNI指数 (円換算ベース) であり、算出にあたってはベトナムドンベース指数をもとに委託会社が独自に円換算しています (以下同じ)。参考指数については後掲の<当ファンドの参考指数について>をご参照ください。

投資環境

期初から2019年10月までのベトナム株式市場は、米中貿易協議の進展への期待、各国の金融緩和策、中国の景気減速懸念の後退等を受け、アジア株式市場に連動する形で上昇しましたが、11月以降のベトナム株式市場は利益確定の動きが見られ下落しました。2020年2月以降は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて世界的に株式市場が下落したことからベトナム株式市場も大幅に下落しましたが、各国による景気対策や金融緩和等の発表や、ベトナムの経済活動再開への期待を受けて反発しました。

米ドル/円については、2020年2月中旬までは米中貿易摩擦の懸念が緩和したことや堅調な米国経済が好感されて円安ドル高傾向となりました。3月に入り、新型コロナウイルスの感染拡大が米国へと波及したことから急速に円高が進みましたが、その後は下落し、期末に期初と同水準の108円近辺で推移しました。ベトナム・ドンについては、対米ドルレートは3月に下落した後、4～5月に反発して足元では新型コロナウイルス以前の水準に近づきつつあります。

ポートフォリオについて

銘柄選択については、企業業績などのファンダメンタルズ、株価のバリュエーションに関する評価・分析に加え、流動性を勘案してポートフォリオを構築しました。企業業績が堅調な金融・不動産・消費といった内需関連やインフラプロジェクトから恩恵を受けるコングロマリットを長期保有を前提に多めに保有し、特定のベンチマークにとらわれない銘柄選択を実施しました。その結果、業種別では、不動産・素材セクターの銘柄のウェイトが増加しました。

【運用状況】

○組入上位10業種

No.	業種	組入比率
1	不動産	20.0%
2	銀行	15.2
3	食品・飲料・タバコ	14.6
4	素材	12.1
5	公益事業	9.5
6	運輸	6.6
7	資本財	6.1
8	その他	5.4
9	各種金融	2.3
10	保険	1.8

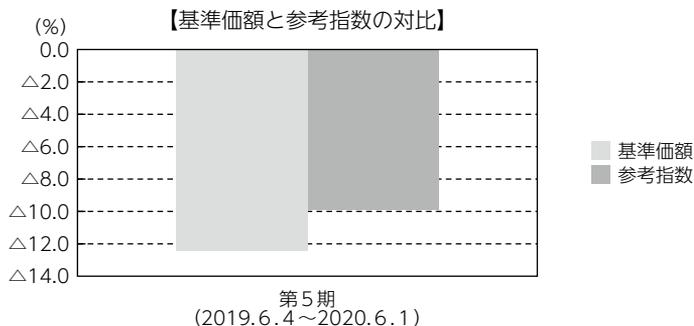
※1 組入比率は純資産総額に対する割合です。

※2 業種は決算日時点でのG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

※3 その他にはE T F等が含まれます。

参考指数との差異

当ファンドはベンチマークを定めておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数であるベトナム VN指数（円換算ベース）の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

分配金

当期の収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2019年6月4日 ～2020年6月1日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	591円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

新型コロナウイルスの経済や企業業績への短期的な影響については注意が必要ですが、中国における人件費高騰や米中貿易摩擦を背景とした製造拠点のベトナムへのシフトは中長期的な流れとして今後も経済の追い風となると見られ、引き続きベトナム株式市場は長期的に有望な市場であると見ています。このような環境下、引き続き同国の経済成長の恩恵を享受できる内需関連銘柄（銀行・不動産・消費関連）の長期保有を前提に重点投資をしていく方針です。

お知らせ

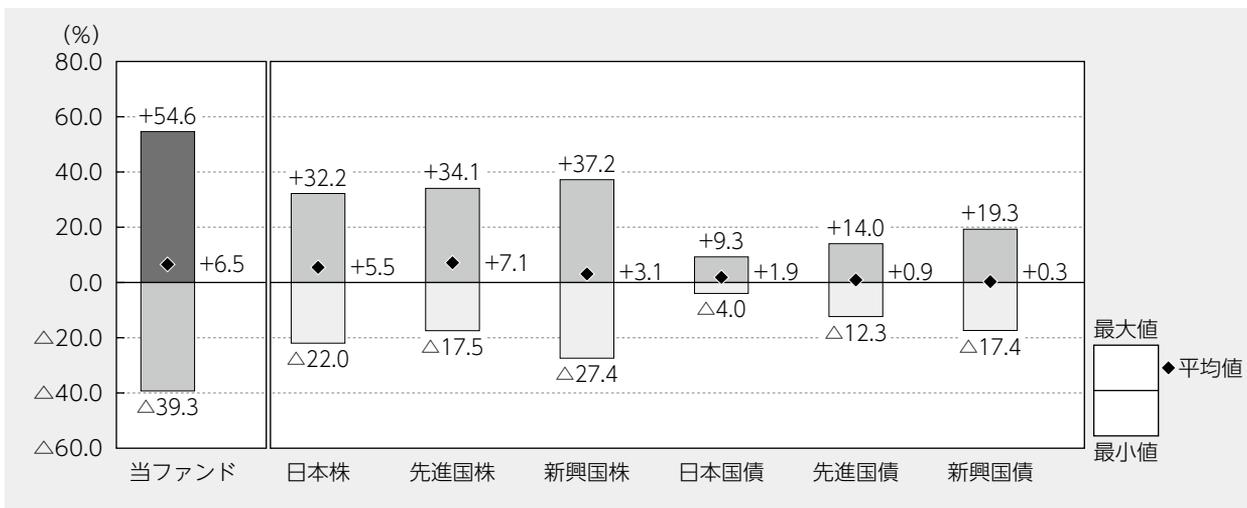
■Asset Management One Singapore Pte. Ltd.に一部委託していた運用の指図に関する権限をアセットマネジメントOne株式会社に移管することに伴い、約款に所要の変更を行いました。

(2020年3月4日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年6月15日から2025年6月2日までです。
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。
主要投資対象	ベトナム株式 ^(*) を主要投資対象とします。 (*) 預託証券(DR)、当該株式の値動きに連動する上場投資信託(ETF)および当該株式の値動きに連動する有価証券を含みます。
運用方法	銘柄選定にあたっては、企業の業績などのファンダメンタルズ、株価のバリュエーション等に関する評価・分析を行い、ベトナム経済の発展に伴い利益成長が期待される銘柄に投資を行います。 株式市場の流動性に配慮しつつ、銘柄分散を図ります。 株式の組入比率は、原則として高位を保ちます。 組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。
分配方針	決算日(毎年6月1日。休業日の場合は翌営業日。)に、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2016年6月~2020年5月

代表的な資産クラス : 2015年6月~2020年5月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2020年6月1日現在）

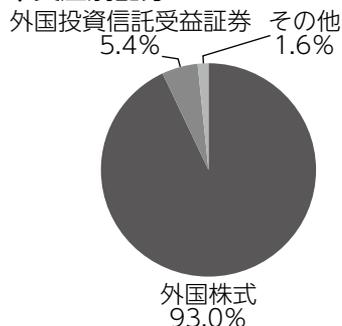
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
JSC BANK FOR FOREIGN TRADE OF VIETNAM	ベトナム・ドン	9.1%
HOA PHAT GROUP JSC	ベトナム・ドン	9.1
VIETNAM DAIRY PRODUCTS JSC	ベトナム・ドン	7.7
VINGROUP JSC	ベトナム・ドン	6.4
PETROVIETNAM GAS JSC	ベトナム・ドン	5.9
VANECK VECTORS VIETNAM ETF	アメリカ・ドル	5.4
VINHOMES JSC	ベトナム・ドン	5.3
MASAN GROUP CORP	ベトナム・ドン	5.1
VINCOM RETAIL JSC	ベトナム・ドン	4.8
VIGLACERA CORP	ベトナム・ドン	3.3
組入銘柄数	37銘柄	

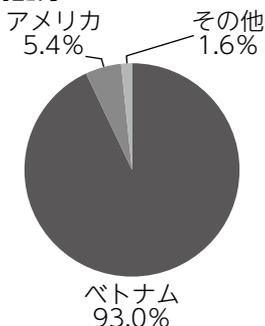
(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

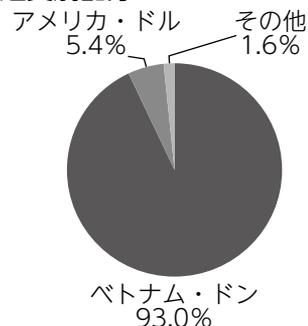
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分は発行国（地域）を表示しております。

(注3) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

純資産等

項目	当期末
	2020年6月1日
純資産総額	6,538,990,758円
受益権総口数	6,791,987,042口
1万口当たり基準価額	9,628円

(注) 当期中における追加設定元本額は2,625,035,910円、同解約元本額は1,960,838,944円です。

<当ファンドの参考指数について>

●ベトナム VN指数 (円換算ベース)

ベトナム VN指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はホーチミン証券取引所に帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数 (TOPIX)」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所 (㈱東京証券取引所) の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、(株)東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス (除く日本)」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。